



2016年3月期

決算説明会資料

1. 2016年3月期【連結】決算のポイント
2. 【連結】業績の推移
3. 【連結】損益の状況
4. 【連結】貸借対照表
5. 【連結】キャッシュ・フロー
6. 事業環境
7. 今後の事業戦略
8. 2017年3月期【連結】業績予想
9. 株主還元

■本資料における注意事項

この資料には、2016年5月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先：管理本部長 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811 FAX 03-6212-2826

ホームページ<http://www.hakudo.co.jp/>

1. 2016年3月期【連結】決算のポイント

前年同期比増収減益

(1) 売上高は前年同期比 **8.5%** 増加

- ◆ 国内製造業の設備投資が回復傾向で推移した
- ◆ 当社の特注品の売上高が、前年同期比11.1%増加した

(2) 営業利益は前年同期比 **16.3%** 減少、 経常利益は前年同期比 **15.5%** 減少

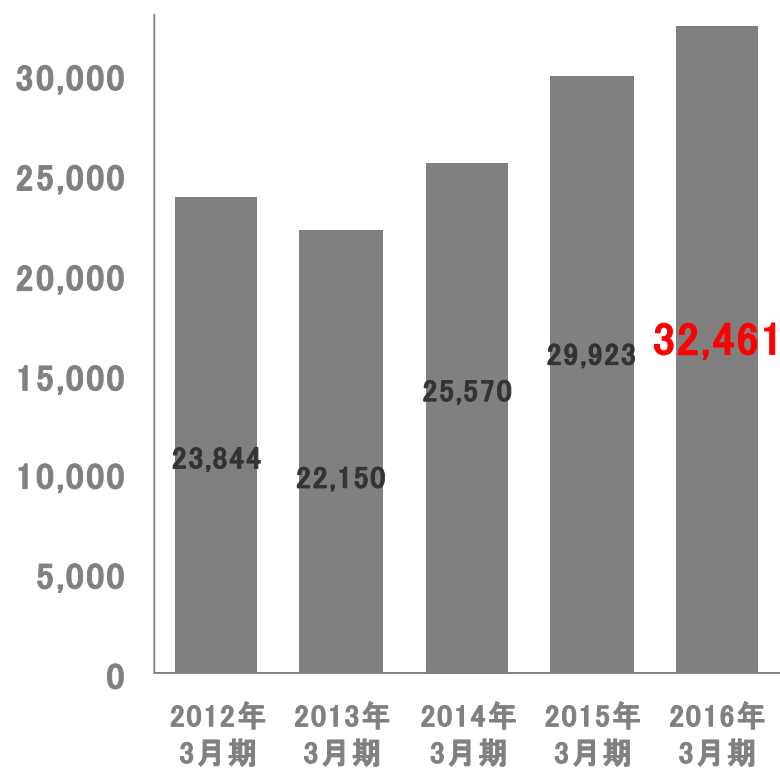
- ◆ 商品在庫に係わる相場損益は、前期の1億8千2百万円の相場差益に対して、当期は1億9千万円の相場差損となった。

2. 【連結】業績推移

(1) 過去5年間の売上高・営業利益・営業利益率

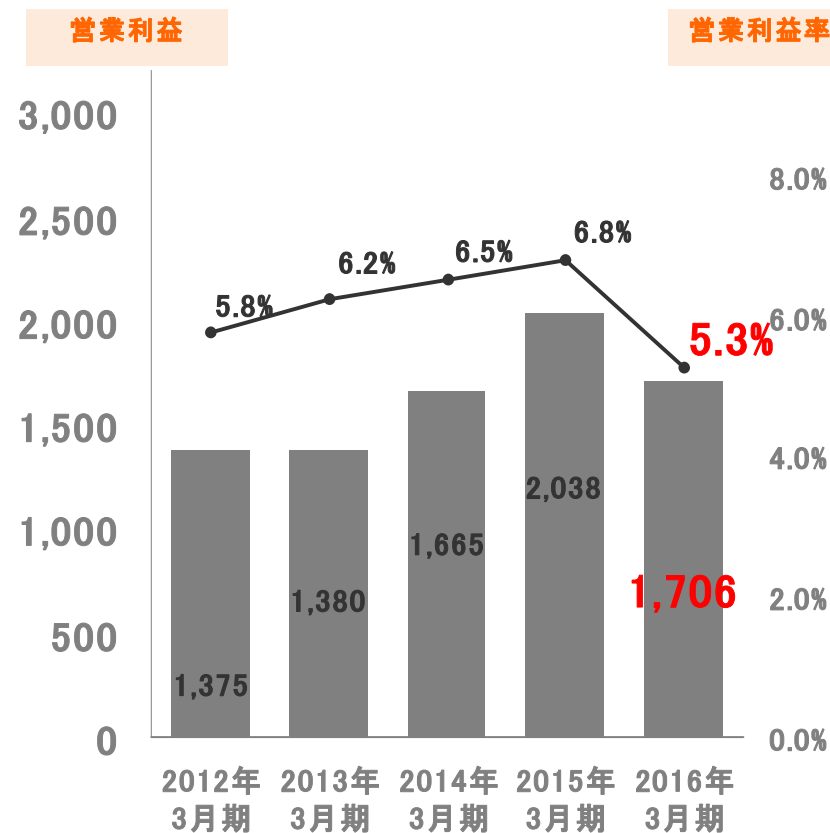
売上高

(単位:百万円)



営業利益・営業利益率

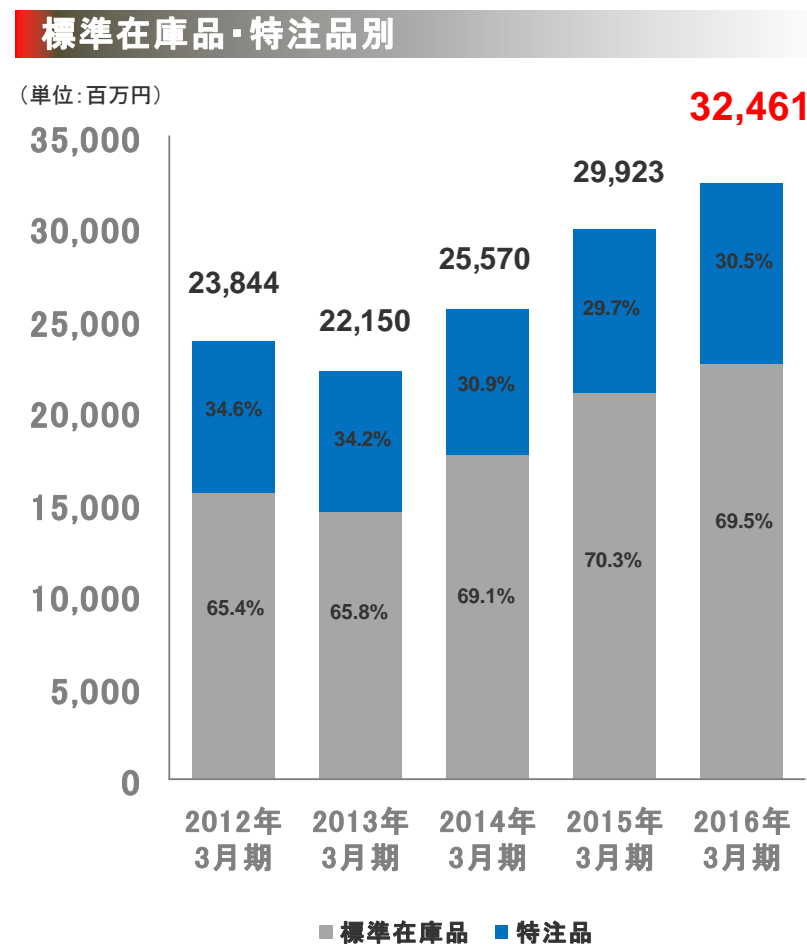
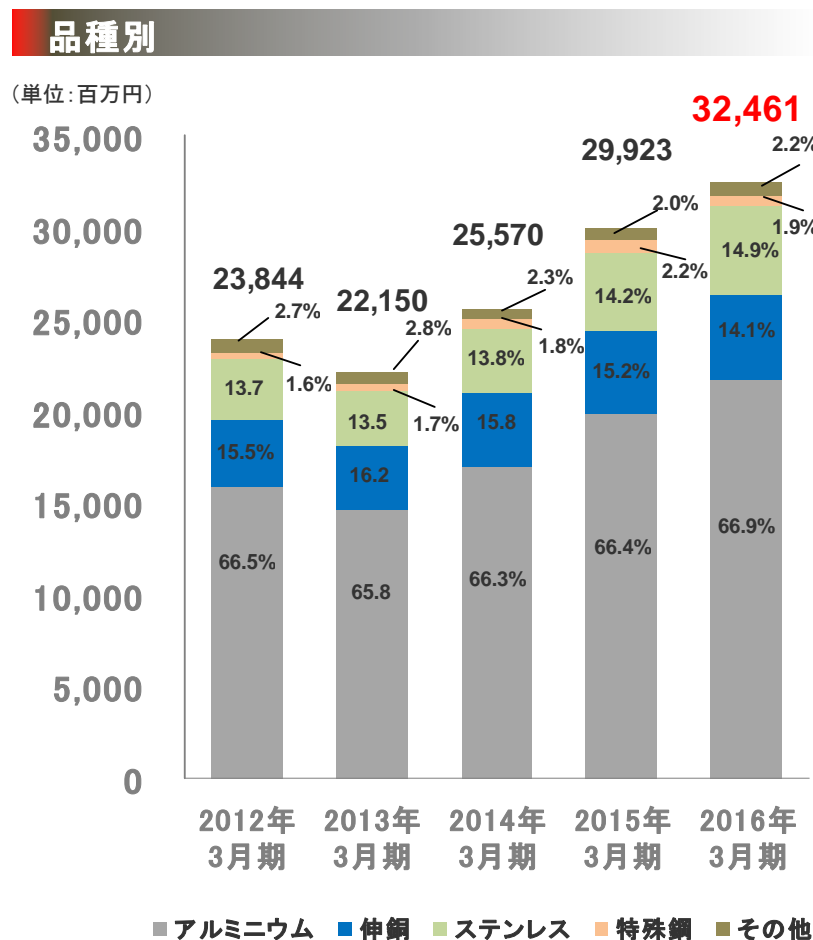
(単位:百万円)



◆売上高は前期比25億5千3百万円増加し、営業利益は前期比3億3千2百万円減少した。

2. 【連結】業績推移

(2) セグメント別過去5年間の業績推移

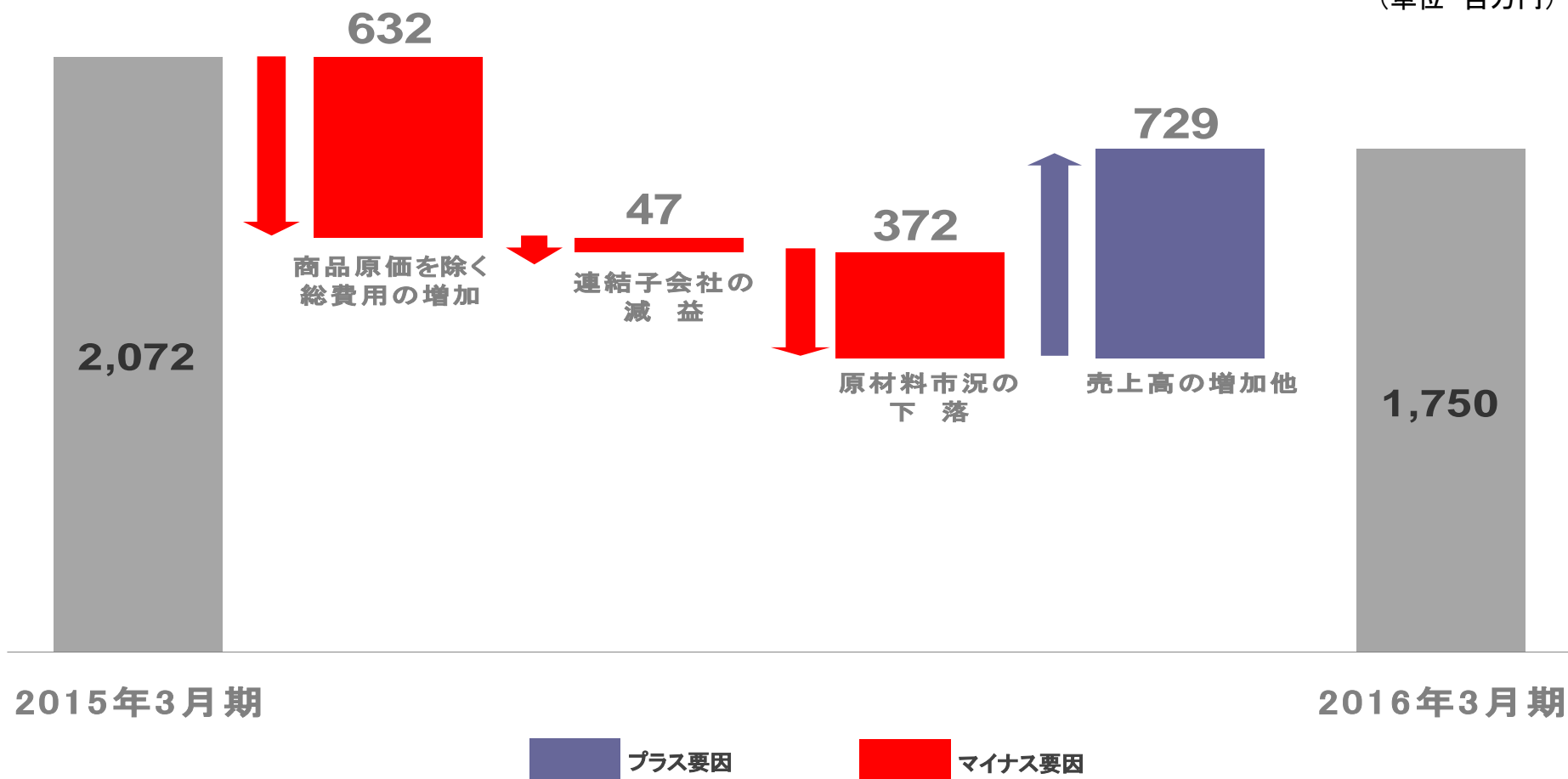


◆ 品種別売上高、標準在庫品・特注品別売上高の構成比に大きな変動はなかった。

3. 【連結】損益の状況

前期経常利益と当期経常利益の差異理由

(単位 百万円)



◆経常利益 3億2千2百万円の減益うち、原材料市況の下落の影響額は 3億7千2百万円だった。

4. 【連結】貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	2015年3月末	2016年3月末	増減	負債及び純資産の部	2015年3月末	2016年3月末	増減
流動資産	19,118	19,060	△ 58	流動負債	11,636	11,132	△503
現金及び預金	4,301	4,255	△45	支払手形及び買掛金	10,067	9,928	△138
受取手形及び売掛金	9,857	10,136	279	未払法人税等	523	155	△368
棚卸資産	4,749	4,446	△303				
固定資産	6,072	6,109	36	固定負債	29	30	1
有形固定資産	5,236	5,316	80	純資産	13,525	14,006	480
資産合計	25,191	25,169	△21	負債及び純資産合計	25,191	25,169	△21

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 19,060百万円(前期末比 58百万円減少)

- ・売上高の増加にともなう受取手形及び売掛金の増加
- ・原材料市況下落にともなう棚卸資産の減少

②固定資産 6,109百万円(前期末比 36百万円増加)

- ・工場設備と機器の購入による有形固定資産の増加

③流動負債 11,132百万円(前期末比 503百万円減少)

- ・原材料市況下落にともなう支払手形及び買掛金の減少
- ・利益減少および減税による未払法人税等の減少

④純資産 14,006百万円(前期末比 480百万円増加)

- ・利益剰余金の減少
- ・自己株式の消却による増加

5. 【連結】キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	1,254	1,268	14
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 337	85	422
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,990	△ 544	1,446
現金及び 現金同等物の 期末残高	3,501	4,255	754

主要項目の増減要因分析

①営業活動によるキャッシュフロー

- 1,268百万円(前期比14百万円増加)
- ・税金等調整前当期純利益の減少305百万円
 - ・前期の売上高増加に伴う売上債権、棚卸資産、仕入債務に係る増加821百万円
 - ・法人税等支払額の増加他による減少511百万円

②投資活動によるキャッシュフロー

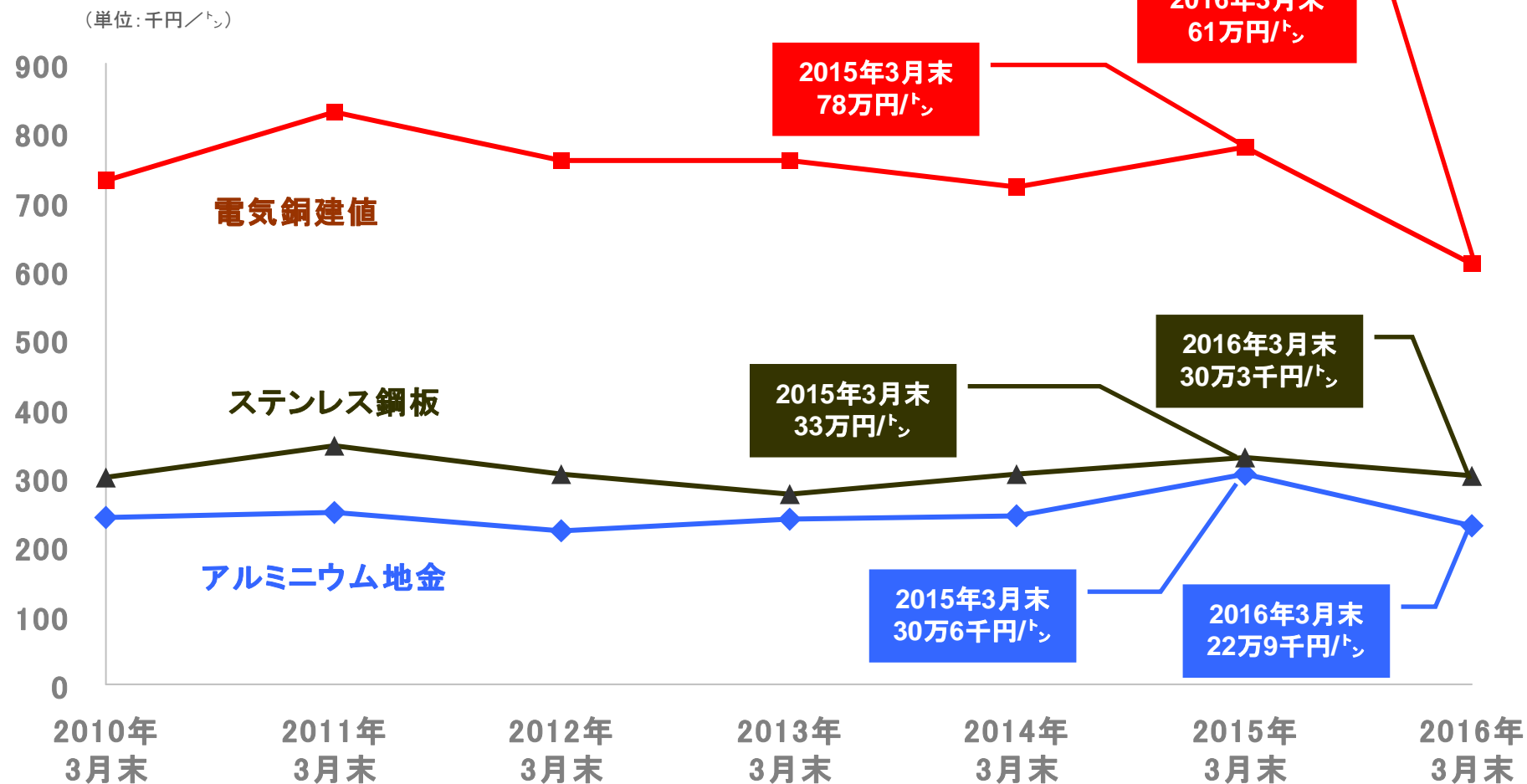
- 85百万円(前期比422百万円増加)
- ・定期預金の引出しによる増加400百万円

③財務活動によるキャッシュフロー

- △544百万円(前期比1,446百万円増加)
- ・前期の自己株式取得分による増加1,566百万円
 - ・配当金の支払額増加による減少120百万円

6. 事業環境

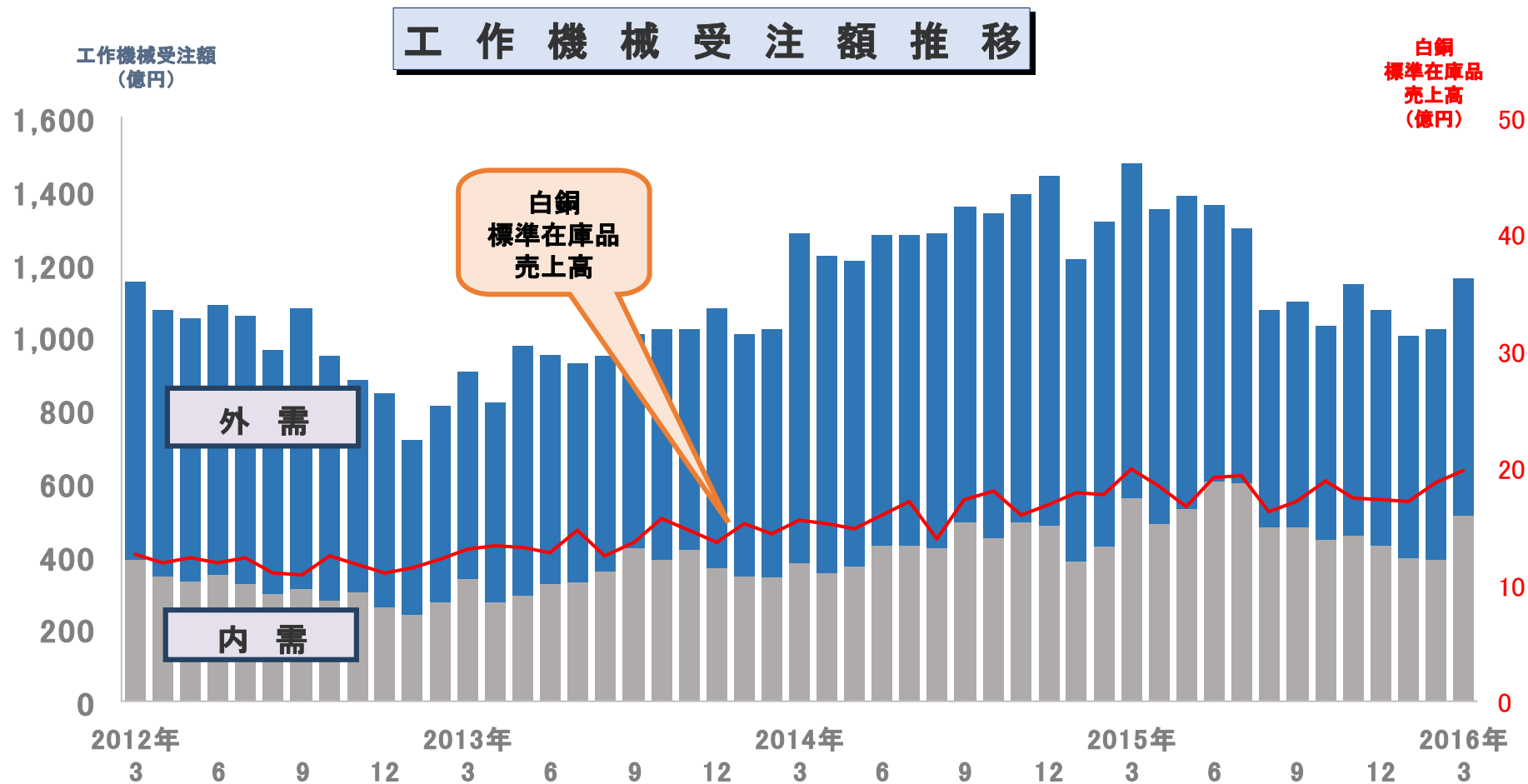
(1) アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況



◆原材料市況は、前年度末と比較し、いずれも下落した。

6. 事業環境

(2) 工作機械の受注動向

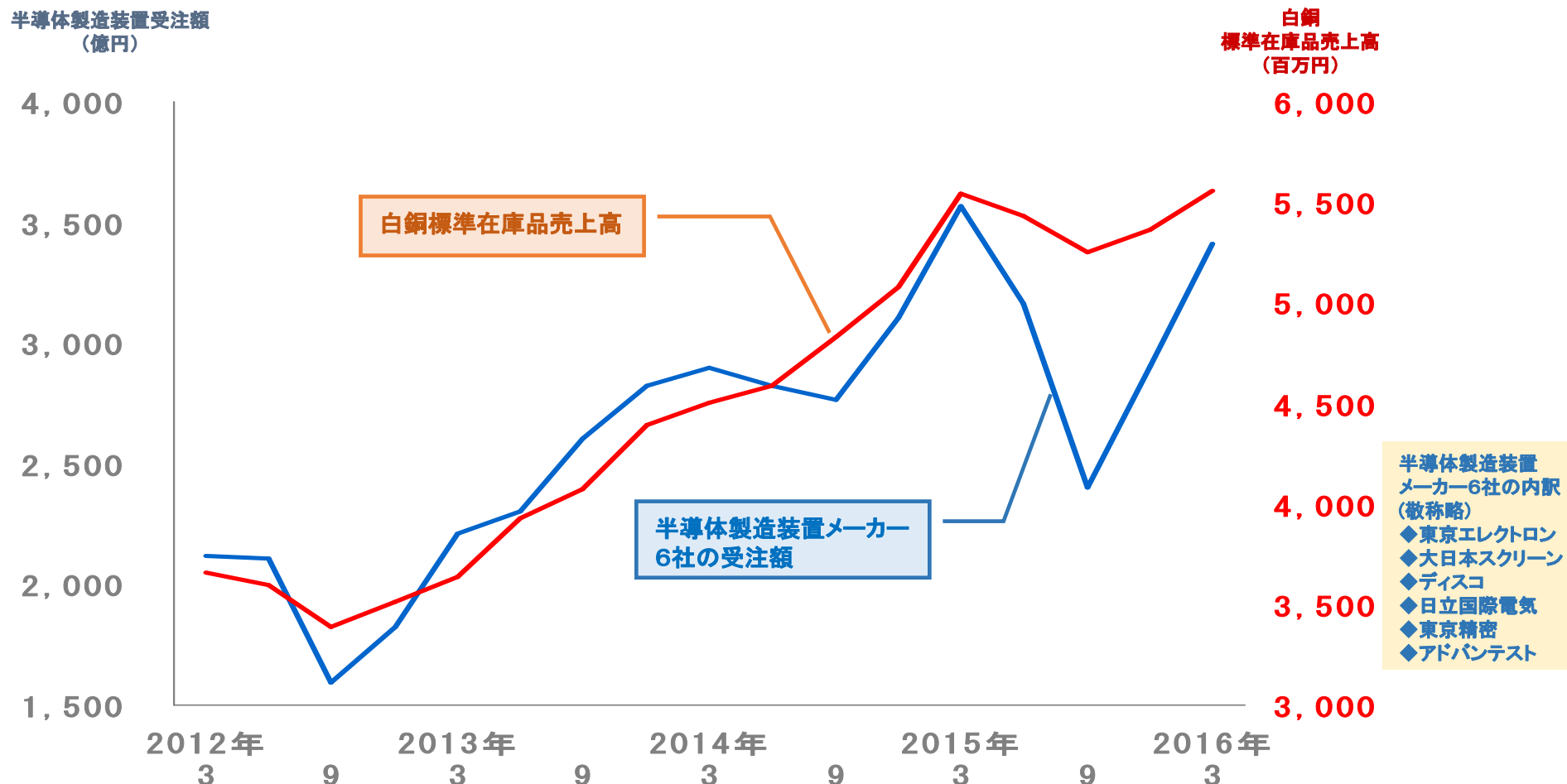


◆内需の受注額と白銅標準在庫品売上高は同じ傾向で推移した。

6. 事業環境

(3) 半導体製造装置の受注動向

半導体製造装置メーカー6社の受注額と白銅の標準在庫品売上高の比較

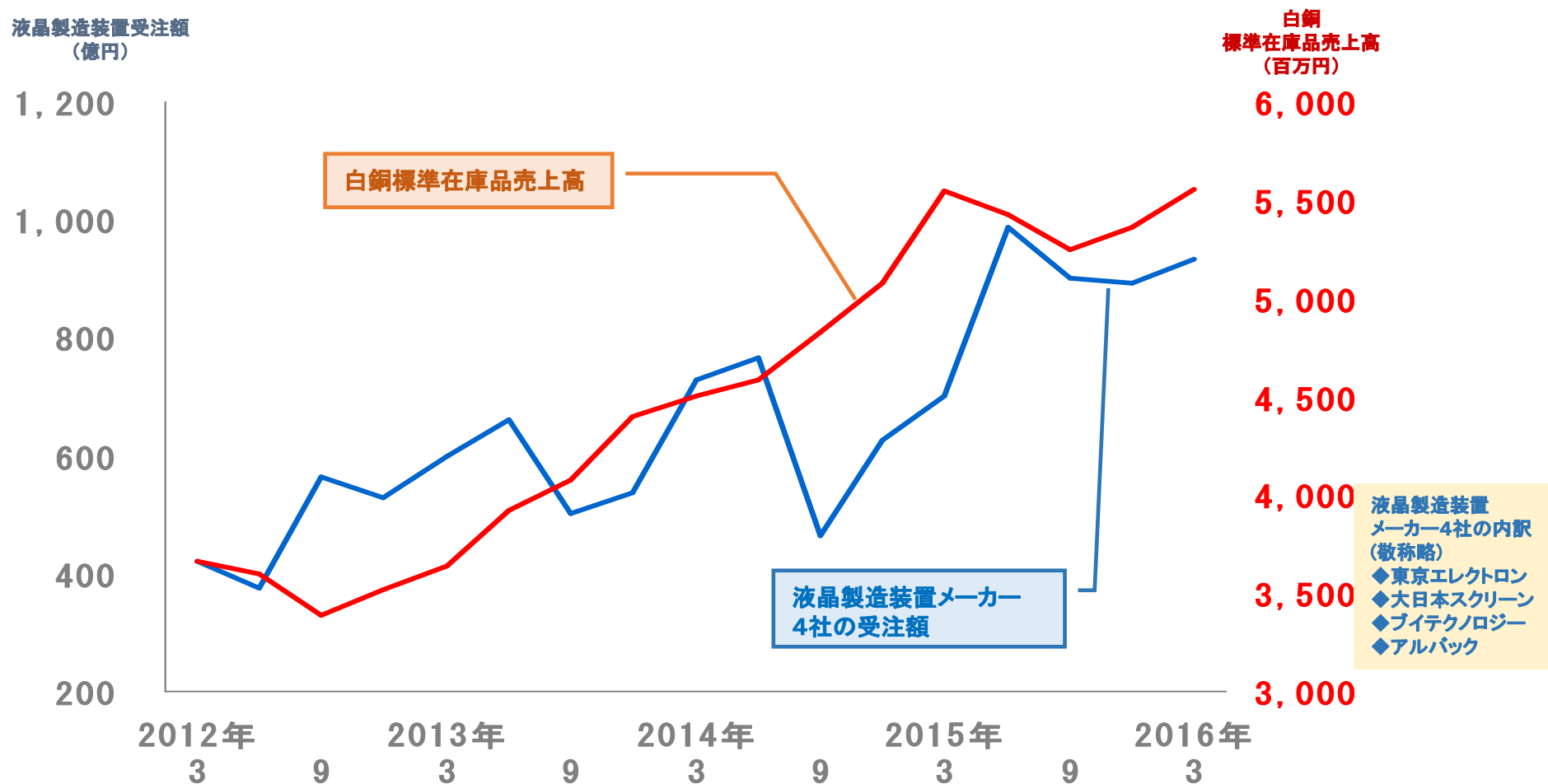


◆半導体製造装置の受注額と比較し、第2四半期の白銅標準在庫品売上高は、微減で留まった。

6. 事業環境

(4) 液晶製造装置の受注動向

液晶製造装置メーカー4社の受注額と白銅の標準在庫品売上高の比較



◆当期は、液晶製造装置の受注額と白銅標準在庫品売上高は同じ傾向で推移した。

7. 今後の事業戦略

(1) 業界トップの品質、業界トップのスピード、業界トップのサービス、納得の価格を実現し、同業他社との差別化により売上げの増大と利益率の向上を目指す

① 製造現場のソリューション

- ◆ ロボットなど省人省力化生産設備の積極投入
- ◆ 製造現場のIoT推進
- ◆ 超品質企業(優質性、良質性、高質志向が組織の隅々に浸透している企業)の実現

② 営業およびお客様センターのレベルアップと白銅ネットサービスの充実

- ◆ 引合いに対する回答時間の短縮
- ◆ お客様センターの対応品質の向上
- ◆ 白銅ネットサービスのさらなる改善

③ 標準在庫品の品揃えの拡大

- ◆ 標準在庫品の品目サイズ数の増加
- ◆ 航空宇宙規格材料シリーズ・エコシリーズ・ハイスペックシリーズ等の特徴のある商品の充実

7. 今後の事業戦略

(2) 海外事業の強化

- ◆ アジア全域への非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレートの販売網の確立
- ◆ 上海白銅精密材料有限公司の増収増益
- ◆ HAKUDO(THAILAND)Co.,Ltd.の早期黒字化
- ◆ ベトナム・マレーシア・インドネシアの代理店との関係強化



7. 今後の事業戦略

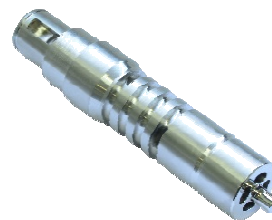
(3) 3Dプリンターでの金属製品の受託製造

- ◆お客様の材料調達や金型製作の時間を大幅短縮
- ◆最終製品をダイレクトに造形可能
- ◆マシニングセンタでは困難な
複雑な形状の一体構造化の実現
- ◆究極の多品種・少量生産の提供



3D Systems社製 3Dプリンター「ProX300」
最大造形サイズ 250^{mm} × 250^{mm} × 300^{mm}

- 取り扱い金属の種類
- ①マルエージング鋼
 - ②ステンレス鋼(SUS630)



画像提供: 3D Systems Corporation

8. 2017年3月期【連結】業績予想

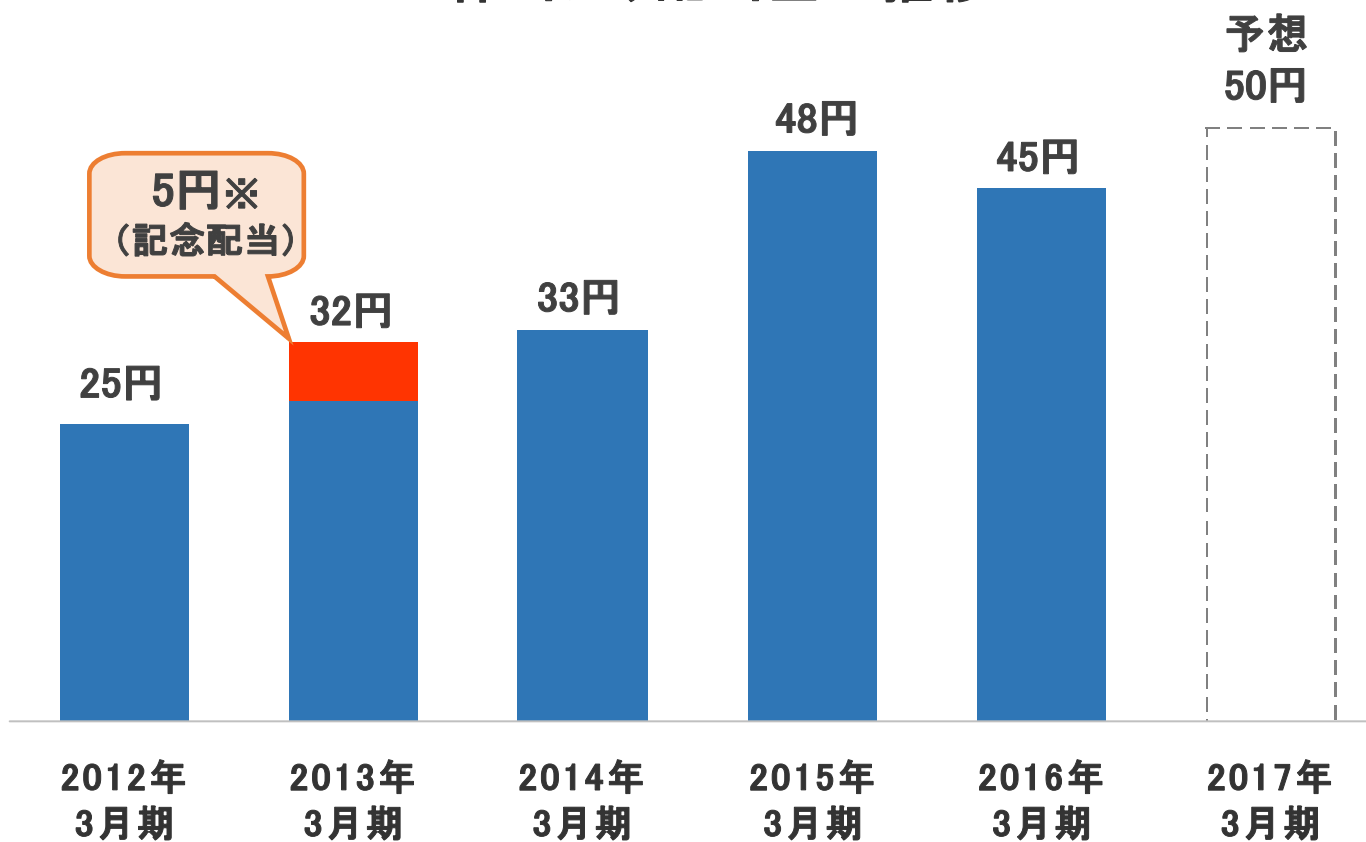
(単位:百万円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (予想)※	前年同期比 増減	増減率
売上高	32,461	33,200	739	2.3%
営業利益	1,706	2,050	344	20.1%
経常利益	1,750	2,100	350	20.0%
当期純利益	1,194	1,410	216	18.0%

※2016年5月12日発表

9. 株主還元

1株当たり配当金の推移



※2013年3月期の配当金は、創業80周年記念として5円の記念配当を実施致しました。